



地域おこし協力隊が着任しました

今年度新たに地域おこし協力隊 1 名が着任しました。

【地域おこし協力隊プロフィール】

- ・名前:大嶋英治(おおしまひではる)
- ・年齢:38歳
- ・出身地:栃木県宇都宮市
- ・活動目的:なすからブランド認証品の活用推進
- ・活動テーマ:鮎の聖地インフルエンサー
- ・活動期間:令和7年4月1日～(最大3年間)
- ・活動拠点:市役所まちづくり課、森田城やな など



【活動内容】

鮎の聖地インフルエンサーとして、受入れ事業者である森田城やな(代表:越雲聖太)の協力を得ながら、アユを中心にSNSを活用したプロモーション、キッチンカーでの販売、商品の開発、販路の拡大などの活動に取り組んでいきます。また、イベント開催時などには、なすからブランドの認証品についてもプロモーションしていきます。

【本人コメント】

釣りが好きで那須烏山市の自然やそこに住む人に惹かれ、一念発起してサラリーマンを辞めて、地域おこし協力隊になりました。地域協力活動を通じながら、市の地域振興に尽力したいと思っています。

※取材の際はまちづくり課あてご連絡ください。

※地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化の進行が著しい地方において、都市地域からの人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行いながら、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

この件に対する問い合わせ先

まちづくり課なすから暮らし推進グループ 電話番号:0287-83-1151